## allcinema

## 河の女(1955)

LA DONNA DEL FIUME WOMAN OF THE RIVER 「米]

メディア 映画

ジャンル

製作国 イタリア

色彩 Color

**時間** 99分 **初公開日** 1956/01/06

公開情報 COL

## 【解説】

日本でも米メジャーのコロムビアの配給により公開され、S・ローレンの名を一躍有名とすることになったメロドラマ。ポー河河口の漁村。密輸も働く気の荒い漁師は魚工場で働く女をものにしたが、あっさりと捨ててしまう。やがて身重になった彼女に、恋心を抱いていた警官が男の密輸を摘発しろと迫った。棄てられても漁師を愛していた女は、彼に知らせようとするが……。そこから事態は悪化、やがて訪れる悲惨な出来事を前にして、男が真実の愛に目覚めるまでを描く。白黒の作品ながら、なんといっても当時21才のローレンが輝くばかりに美しい。当時流行だったマンボを踊る生き生きとした姿も、けなげに働く涙もろい一児の母を演じる姿も、魅力にあふれている。主題歌『マンボ・バカン』も大ヒット、マンボ映画の代表作ともされている。既に詩人として活動していたパゾリーニが初めて映画に関わった作品としても有名。

## 【クレジット】

監督 マリオ・ソルダーティ Mario Soldati

音楽 アルマンド・トロヴァヨーリ

製作 カルロ・ポンティ Carlo Ponti

ディノ・デ・ラウレンティス Dino De Laurentiis **原案** アルベルト・モラヴィア Alberto Moravia

エンニオ・フライアーノ Ennio Flaiano

脚本 ピエル・パオロ・パゾリーニ Pier Paolo Pasolini バジリオ・フランキーナ Basilio Franchina

ジョルジョ・バッサーニ Giorgio Bassani アントニオ・アルトヴィーティ Antonio Altoviti

マリオ・ソルダーティ Mario Soldati 撮影 オテッロ・マルテッリ Otello Martelli

アンジェロ・フランチェスコ・ラヴァニーノ Angelo Francesco Lavagnino

r J J T T Angeto Francesco Lavagnino

出演ソフィア・ローレンSophia Lorenリク・バッタリアRik Battagliaジェラール・ウーリーGerard Oury

フロレスタノ・ヴァンチーニ Florestano Vancini

Armando Trovajoli